

8-4-8 河川計画専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

専門委員会を計9回(4月～12月)開催し、河川講習会の企画・運営について審議した。委員会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ほぼWEB会議(一部在京委員のみ集合会議)で実施した。

(2) 河川講習会の実施

第29回河川講習会を実施した。今回の講習会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、WEB形式を初めて採用した。テーマは「頻発する大規模水害に対して何をすべきか」として、東京大学大学院工学系研究科の池内幸司教授、国土交通省水管理・国土保全局の大吉企画専門官にご講演いただいた。

a) 開催日時

令和2年12月7日(木) 13:00～16:00

b) 講演テーマと講演者

- ① 近年の水害の教訓と気候変動を踏まえた今後の水害対策のあり方

東京大学大学院工学系研究科 教授

池内 幸司

- ② 気候変動を踏まえた水災害対策について～あらゆる関係者が流域全体で行う持続可能な「流域治水」への転換～

国土交通省 水管理・国土保全局

企画専門官 大吉 雄人

- c) 参加者：参加者は524名と前年の237名を大きく上回った。WEB開催になったことで普段参加が難しい、関西圏・関東圏以外の技術者から多くの参加を頂いた。

d) 講演概要

池内教授には、近年、記録的な豪雨による甚大な水害が毎年のように発生し、「これまでに経験したことのないような大雨」というフレーズが日常的に使われるようになった現状を踏まえ、近年の豪雨災害の特徴と教訓、気候変動により激化する水害の状況、これらを踏まえた今後の水害対策のあり方等について講演いただいた。

次に、大吉企画専門官には、流域治水の考え方や対策について紹介していただくことも

に、流域治水におけるソフト対策の一つである、水害リスク情報空白域の解消に向けた取り組みについて、令和2年6月に公表された「小規模河川の氾濫推定図作成の手引き」の概要等についてご講演いただいた。



河川講習会のWeb配信画面

(4) 研修会への講師の派遣

国総研より要請を受け、関東地整でのCommonMP講習会に講師派遣を行った。

(5) 国土交通省との意見交換について

水管理・国土保全局からの要請を受け、中小河川の水害リスク評価に係る技術検討会への委員参加、河川技術評価委員会へのオブザーバ参加などを行った。

(6) CommonMP推進委員会への参加

幹事会および推進委員会へ河川計画専門委員長が参加(本年はメールでの書面会議)し、CommonMPの改良方法について議論した。

2. 次年度の活動について

会員からの開催要望が多い河川講習会や対外的活動(講師派遣、意見交換会等)は継続するが、その他は中期的な視点で取り組むべき事項について委員会で議論する。

(河川計画専門委員会委員長 永矢 貴之)